

主催事業新聞



発行日：9月13日(土)
Vol. 3-①

アドベンチャーキャンプ

「わんぱく村」

8月12日(火)～16日(土)にかけて、岐阜市少年自然の家で4泊5日のアドベンチャーキャンプ「わんぱく村」が行われました。今年も雨降りの日が多かったです。皆さんの活動変更がありました。

それでも小学5年生～中学生の50名の参加者は、学校や学年の異なる仲間とグループを作り、大学生ボランティアとともに5日間の様々な冒険を楽しみました。



◆わんぱく度チエック◆

～1日目～

わんぱく村にやって来て最初の難関！大きな声で「わんぱく村に入れてくださいー！」

この難関を見事クリアーしないとわんぱく村には入れてもらえない。



「わんぱく村に入れてくださいー！」

◆テント設営◆

はじめの会が終わってテント設営。屋外にたてる予定でしたが雨がパラパラ…。あじさい広場の下にドームテントをたてました。まだ出会う間もないグループの仲間だけ、みんなで協力してたてることができました！



みんなで協力することが大事なんだ！



◆大池でボート練習◆

昼食後は、明日以降に川下りができる望みをかけて、大池でボートをこぐ練習をしました。まずはボート作りから。みんなでがんばってふくらませ、いざ池へ。「1・2・1・2」とみんなのリズムを合わせないと、まっすぐ進みません。何度も何度も練習しました。



「1・2・1・2」まっすぐ進め～！

◆野外炊事◆

夕食は「牛丼」。わんぱく村では全部で6回の野外炊事があり、その一番初め。慣れない手つきで野菜を切ったり、かまどに薪を組んだり…。

ちょっと失敗したグループもあったけれど、みんなで協力して作った牛丼は最高でした！



◆石田川で川遊び◆

～2日目～

長良川の増水により、予定の川下りは翌日へ延期。代わりに3日目に行う予定だった川遊びに変更し、石田川で魚とりをしました。タモを草の下に入れて足でゴソゴソ、タモをあげるそこには魚や水生生物がたくさん！「やったー」大喜びの子もたちでした。



◆ナイトハイク◆

夜は公園内を探検するナイトハイクを行いました。各ポイントの指令をクリアーするとパズルのピースを手に入れることができ、中には暗闇に怯える子がいながらも、最後はみんなでゴールし、笑顔でパスルを完成させていました。



主催事業新聞



発行日：9月13日(土)
Vol. 3-②

アドベンチャーキャンプ

「わんぱく村」

～3日目～

◆火おこし◆

3日目、「川下りがしたい！」という子どもたちの思いは届かず、増水のため、残念ながら川下りは断念。しかし子どもたちは、変更した「火おこし」を大いに楽しんでいました。パッと火が燃え上がったときは、「ファイヤー」と大盛り上がりでした。



あせらず、みんなで協力して…

◆しかけ作りの◆



ペットボトルで、魚のりしかけ(セルヒン)を作りました。中にスルメや竹輪などを入れ、公園内の小川に沈めました。引き上げると、魚やスジエビなどがたくさん入っていました。

◆オリエンテーリング◆

午後からは公園内のオリエンテーリング「あだちラリー」を楽しみました。問題用紙の写真に写っているものを探し、それが地図のどこに位置するかを書き示すゲームで、「あっちじゃない?」「向こうにあったよね」など、グループの仲間と相談しながら歩いていました。



銅像と一緒に「はい、チーズ」

◆わんぱくパーティー◆

～4日目～

これまでの野外炊事の経験を活かして、5つのメニュー「焼きそば」「ホットドック」「いなり寿司」「白玉フルーツ」「わらびもち」を班ごとに作りました。



◆キャンプファイヤー◆

わんぱく村最後の夜。火の女神からいただいた大きな炎のまわりで、4日間で仲良くなった仲間たちと思いっきりゲームを楽しみました。これまでの活動を振り返る場となりました。



できあがった料理は、班ごとに屋台風のブースを作り、全員でお店をまわって味わいました。お祭りのような雰囲気のパティーをみんな思う存分楽しんでいました。



◆閉村式◆

～5日目～

わんぱく村もとうとう最終日。最後の最後にまたもや雷雲が接近し、急ぎよ閉村式の場所を変更。みんなで自然の家に大移動しました。

終始天候に悩まされた今回のわんぱく村でしたが、「今までにない経験ができた思い出になった」「みんなと笑顔いっぱい活動できた」などの感想が上がり、幕を閉じました。



それぞれの班が自分たちで考えたゲームを司会、進行。「みんな～盛り上がってるか～い?」



火文字は「3ピース!!!」